

No.	推薦団体	氏名	年齢	性別	市町村名	功績等
1	福島県テニス協会	ねもと かつや 根本 勝也	男	74	いわき市	<ul style="list-style-type: none"> <li>いわき市テニス協会会長に就任後、5年間にわたりオーストラリア(タウンズビル)ヘジュニア選手とコーチを計33名派遣し、ジュニア強化が実を結び多くの選手が育った。</li> <li>長年にわたり、福島県テニス協会副会長として当協会を支えた。また、いわきテニス協会会長としてジュニアの強化育成に力を注いだ。</li> </ul> ○福島県テニス協会 副会長13年
2	福島県卓球協会	ふかや しゅうぞう 深谷 秀三	男	69	郡山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県卓球協会の副理事長、理事長、副会長、会長を33年間にわたり務めており、その間、各種東北大会、全国大会を誘致し、大会運営の中心として大会を成功に導いた。</li> <li>第50回ふくしま国体において卓球競技の総監督として総合2位入賞に尽力した。</li> <li>富久山卓球クラブを主宰し、指導者として全日本クラブ卓球選手権大会小中学生の部において、男女各3回の優勝、平成元年より16年連続ベスト8以内の入賞を果たした。</li> </ul> ○福島県卓球協会 副理事長15年 理事長8年 副会長 4年 会長6年
3	福島県剣道連盟	よしざき まさる 吉崎 勝	男	68	いわき市	<ul style="list-style-type: none"> <li>長年福島県の代表選手として国民体育大会や全日本都道府県対抗剣道優勝大会に数多く出場し、本県剣道の水準の向上に貢献した。指導者としては自らの経験や修行を生かし、国体少年男子を優勝に導くなど数多くの剣道家を育成した。現在では本県全体の剣道の普及発展を担う本連盟の役員として活躍中であり、福島県剣道界に対する貢献は顕著である。</li> </ul> ○福島県剣道連盟 副理事長6年 副会長5年
4	福島県バスケットボール協会	おおつ つねお 大津 恒夫	男	73	浪江町	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和53年4月から平成13年3月までの22年間相双協会の理事長を務めた。平成15年4月から現在まで福島県バスケットボール協会副会長として協会運営に携わっている。県協会副会長、地区協会会長として、リーダーシップを発揮し相双地区及び本県のバスケットボールの普及、発展に尽力しており、現在も精力的に協会運営を行っている。</li> </ul> ○福島県バスケットボール協会 副会長10年
5	福島県スポーツチャンバラ協会	さとう ともこ 佐藤 とも子	女	63	桑折町	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成6年スポーツチャンバラ協会設立時から副会長、理事長を歴任し、協会の発展、後人の育成に貢献した。</li> <li>各地区の協会設立に尽力しスポーツチャンバラの普及に貢献した。</li> </ul> ○福島県スポーツチャンバラ協会 副会長7年 理事長7年
6	県中地域連合会	くわざわ やすし 桑澤 康	男	79	石川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>石川町体育協会の加盟団体、石川スケートクラブ、石川町ソフトテニス協会、石川ラージボール協会の代表者としてそれぞれ活躍している。特にスケートでは、昭和44年から県内でも数少ない日本スケート連盟指導員として県内のスケート競技の底辺拡大、競技力向上に尽力し、国民体育大会等で活躍した選手を育てた。</li> </ul> ○石川町体育協会 会長5年 副会長5年 理事長11年
7	会津地域連合会	さとう みつお 佐藤 光雄	男	77	会津若松市	<ul style="list-style-type: none"> <li>10年間の長きにわたり、会津若松市体育協会副会長として会津若松市のスポーツ振興、社会体育の推進及び市民の健康増進等に尽力された。特に、会津若松市地区体育連盟を中心に身近なスポーツの向上と健康増進に尽力された。</li> </ul> ○会津若松市体育協会 副会長10年
8	福島県ハンドボール協会	たぐち ゆきよし 田口 侑義	男	75	福島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県ハンドボール成年女子監督として国体に25回出場する。実業団ムネカタ監督時代には社会体育優良団体として文部大臣賞(昭和57年)を受賞した。</li> <li>昭和44年にムネカタに入社して以来、実業団ムネカタの監督としてチームの育成強化と共に福島県ハンドボールの発展と特に女子の強化において貢献した。</li> </ul> ○福島県ハンドボール協会 参与
9	福島県なぎなた連盟	ふるかわ ともこ 古川 智子	女	83	会津若松市	<ul style="list-style-type: none"> <li>20年の長きにわたり福島県なぎなた連盟の理事として、その間、各大会運営部の主任として大会運営の細部にまで気を配り運営の中核として活動した。</li> <li>ふくしま国体では競技委員長として駒竹なぎなたクラブ設立の際に竹の子会を結成し、一般女子の会員を増やし駒竹会と合併してふくしま国体競技役員として養成し、ふくしま国体を円滑に運営した。</li> <li>平成元年に門田小、若松五中でなぎなた部を核として市内全域より小中学生を募集し、会津なぎなたスポ少を立ち上げ、競技人口の拡大と競技力アップを図り高校にも呼びかけ、小中高一貫指導体制を確立した。</li> </ul> ○福島県なぎなた連盟 常任理事 6年 理事 15年